

みしま



2011

7

「三島小の田んぼ」草取り

写真/宮下地区活性化センターの横「三島小の田んぼ」で6月22日、三島小の5年生が昔からの道具「コロバシ」を使い、草取りを行いました。同月1日に田植えをした稲は太陽を浴びて元気に育っています。



会場にあふれた1万8千の笑顔

第25回 ふるさと会津工人まつり

第25回ふるさと会津工人まつりは6月11日・12日、生活工芸館周辺で開催されました。震災、原発事故、風評被害：「来場者は来てくれるのだろうか」。不安の中で準備が進められた工人まつり。しかし、開けてみればものづくりの交流の輪は震災に負けませんでした。来場者は2日間約1万8千人。天気予報通り11日の朝は雨でしたが、続々とやってくる来場者のパワーが勝り昼前には晴天となりました。会場には全国各地から集まった164人の工人たちが、手作りの品々を展示販売。三島の工人たちの編み組細工が人気を集め、初日の販売開始と同時に品切れになる工人もいました。

「工人まつりの最大の魅力は、作り手と使い手の顔が見えること」

大量生産・大量消費の現代では、普段使っているモノは誰が作ったのか分からないものばかり。生産者から見ても、自分が作ったモノを誰が使うのかなど分かりません。「壊れたら新しいものを買う」「まだ使えるけど、新作に買い替える」。それは消費するだけで愛着はありません。長く使える「ホンモノ」を作り手の顔を見て買う。作り手も使い手の顔を見て商品売。そして、「あんなモノが欲しい、こんなモノが欲しい」と直接要望を伝えられる。そこが工人まつりの最大の魅力です。

工人まつりには天然素材の素敵なカゴやバックを持った来場者がたくさんいます。「来場者も好きな人しか集まらない。工人との交流はもちろんですが、お客さん同士、好きな人と交流し合えることが何より楽しいです」という声が聞かれます。それが工人まつりに継続してお客さんが来てくれる秘訣ではないでしょうか。

会場を見渡すと、どこを見ても笑顔があふれています。工人も来場者も楽しくて仕方ない。そんな様子が伝わってきます。今年で25年目を迎えた工人まつり。はじめは小規模だったまつりも、回を重ねるごとに大きな反響を呼ぶイベントに成長しました。



手仕事の楽しさ見てください

同時開催された「てわっさの里まつり」

てわっさの里まつりは6月11日・12日、工人まつりと同時に宮下地区で行われ、県内外から多くの観光客が訪れました。この日は宮下地区が一年のうちで最も賑わう日。自宅を工房・ギャラリーとして公開し、町外からも5店が作品を並べました。宮下活性化センターでは、そばの会の皆さんによって、そばまつりが開催され、両日とも行列ができ、午後2時には完売するほどの大盛況でした。



多くの観光客が自宅工房・ギャラリーを訪ね歩いた



最大の魅力は つくり手が見えること

モノとの向き合い方が変わりました

工人まつりへ行くようになって3年目ですが、回を重ねるごとに価値のあるまつりだと感じます。作り手さんはみな生き生きしていますね！人生を楽しんでいるのがよく分かります。大量生産の時代に生まれた自分にとっては、生活に密着したモノづくりが新鮮に感じました。簡単に手に入れば、欲は満たされますが、心が満たされないと言うのではありませんか。最大の魅力はやはり、作り手が見えること。商品ではなくて作品なんだと強く感じますし、愛着が湧きます。昨年買ったものをまたおまつりへ持って行きたくなります。モノとの向き合い方が変わってきたように感じます。来年もまた皆さんの笑顔と元気をもらいに、そしてお金では決して買えない、すばらしい景色に会いに行きたいと思います。ふと三島の景色を思い出す時があります。本当にすてきな町ですね。

来場者の声



柴崎さんの家族
(愛知県一宮市)

編み組やってなかったら こんなに長生きしてないよ

工人まつりはまさに生きがい

工人まつりは、開催当初はこれほど大勢の人が来るまつりではなかったけれど、今では県内外からたくさんの方が来てくれる。生活工芸館で編み組の講師をしていた時の生徒が工人まつりに来てくれて、握手を求められたり、本当にうれしいね。お客さんの楽しんでいる顔や、喜ぶ顔を見ると、また頑張ろうという気持ちになる。それが毎日の刺激になっているな。工人まつりがなければ、今の歳まで、とても生きていないよ。あはは。若い人達とも交流出来るし、老化防止にもなるし、工人まつりは、まさに生きがいだ。これからも今の状態を継続していつて欲しい。編み組には、後継者不足と材料の枯渇という二つの問題があるけれども、その課題に今後取りんていかなければならない。それにしても、工人まつりは立派なものです。

工人の声



伝統工芸士
五十嵐文吾さん 89 歳
(大登)

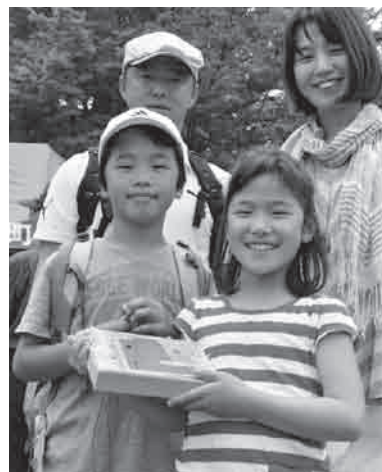
工人まつりは 一年で一番楽しみなイベント

工人まつりは何が何でも参加します

工人まつりは「家内」が1年で一番楽しみにしている行事です。1年前から1年後の工人まつりの日は空けておいてと言われます。というのも私は地元の小学生サッカーチームのコーチをしています。休日の土日は家を留守にすることが多いからです。工人まつりの日は「コーチ業」は何がなんでも休みにします。来年は出産で1名増えますが、家内はおんぶしてでも参加すると思います。未永く工人まつりが続くことをお祈りしています。もちろん今後も毎年参加いたします！

※岩田さんの娘さんがチャリティオークションで木のバズルを落札。親子で手作りの作品が大好きだと話してくれました。家族皆さんで年に一度の工人まつりを楽しんでくださっています。

来場者の声



岩田さん親子
(須賀川市)

心と心のつながりを感じる 直接ぬくもりを伝えられる

工人まつりはモノと人の出会いの場

佐藤長雄前町長と伝統工芸品展で出会った時に、「工人まつりというイベントに参加してみないか」と誘われたのが、出店したきっかけです。第一回から参加しています。工人まつりの良いところは、我々工人の心を使い手に伝える事が出来ることです。手仕事には全て作り手の気持ちが入っています。その心を直接伝えることができる所が良いですね。その気持ちがい手の方に「ぬくもり」として感じてもらえるのだと思います。工人まつりは人とモノ、モノと人との出会いをつなぐ役割を果たしています。今、効率が優先され、ぬくもりや気持ちといった「心」が置き去りになっています。工人まつりを通して「心」の大切さを訴えていきたいです。私は長岡クラフトまつり実行委員会の委員長をしています。工人まつりは見習うことが多くモデルとなっていますよ。

工人の声



木工士
高三 高橋恒夫さん
(新潟県三条市)



駐車場は森の校舎カタクリ、町民グラウンド、三島中学校グラウンドに設けられ、朝早くから満車となりました

工人まつりは二日間、延べ1万8千人の来場者が訪れました。その経済効果は販売や宿泊、そして観光客の再訪問など2次効果3次効果を含めると、非常に大きいと考えられます。道の駅尾瀬街道みしま宿の布川孝宏駅長は「工人まつり期間中は通常の週末の売上と比較して、おおよそ2倍。工人まつりがあるのとないのでは大違い」と言います。また宮下温泉栄光館の若女将・長峰京子さんは「10日と11日のお客さんは全て工人まつりのお客さんです。通常の週末とはやはり大きく違います。工人まつりの効果は非常に大きいです」と話しました。

今や工人まつりは、町全体の経済にも大きな効果を与えており、重要な役割を果たしています。

●町の宿泊施設来客数

宿 泊 施 設	6月10日 ^⑤	6月11日 ^⑥	計
宮下温泉ふるさと荘	23人	21人	44人
森の校舎カタクリ	56人	67人	123人
早戸温泉竹のや	13人	16人	29人
早戸温泉つるの湯	24人	19人	43人
糸屋旅館	8人	11人	19人
奥会津のんびり館	15人	17人	32人
民宿かねこ	3人	10人	13人
宮下温泉栄光館	45人	25人	70人
合 計	187人	186人	373人

工人まつりの効果

●道の駅尾瀬街道みしま宿 来客者数

6月10日 ^⑤	561人
6月11日 ^⑥	2407人
6月12日 ^⑦	2428人

●編集を終えて

「工人まつりは本当に楽しい」「毎年かかさず来ています。来年も必ず来ます」「今年は友達も連れてきました」「三島は自然が本当に豊かで素敵なんです」。取材すると、来場者の皆さんが笑顔でそう答えてくれます。取材を通して三島町の魅力に気付かされ、勇気付けられました。三島町は「なにもないところ。あるのは冬の大雪だけ」。そう思っている町民の方も多いかもしれません。しかし、その三島町に、2日間で1万8千人もの人が訪れました。三島には魅力的な工芸品と豊かな自然、そして素敵な人がいるからです。観光で訪れる三島と、生活の場としての三島は、全く違うかもしれません。しかし、「三島には人を惹き付ける魅力がある」という自信を持ち、胸を張るべきです。

「作る人の手から、使う人の手へ」。工人まつりはこれからも、ものづくりの真の豊かさを伝えます。



また来たい。 そう思ってもらえる事が 継続の鍵

奥会津三島編組品振興協議会会長
三島町生活工芸運動友の会会長

馬場修子さん(松原)

——今年も大勢の来場者の方々に賑わいました。県内外から、大勢の方々に来場していただき、本当にありがたいです。遠く九州からわざわざお見えになる方もいらっしやいました。今年はゆつくりと楽しんでいただけたのではないでしょうか。工人さんについては、良い作品をたくさん出展していただきました。ありがとうございます。トラブルも無く無事に終えることができました。会場も綺麗に使っていただいたおかげで、後片付けもスムーズにできました。工人さん達は年を重ねるごとに、作品も人柄も良い方々が集まってくださいます。

——工人まつりは町の一大イベントになりましたが、今後はどのようにしていきたいですか。

お客さんに楽しんでもらえることが一番大切だと思います。「また来たい」と思ってもらえるようなお祭りになっていきたいですね。せっかく来

ていただいた方々には、なるべくご不便や不満がないようにしたいです。お客さんに楽しんで頂ければ今後も継続していけると思っています。三島の編み組細工については、伝統的な作品を残しつつ、お客さんの要望を聞き、新しいデザインを取り入れたり、新たな作品の開発も必要だと思います。

——最近の工人まつりは、商業的な面が強いという声もありますか。

私としては、「自分が使いたい物を作り、それから他の人にも使って欲しい物を作る」という事が重要なことだと思います。しかし、お客さんに満足してもらうためには、伝統的な作品を作ること以外にも、お客さんのニーズに合わせて、求められている物を作る事も大切な事だと思います。「自分達が使う物を作る」といった生活工芸運動の理念で、伝統的な工芸作品を幅広く作り続ける事と、お客さまのニーズに答えて、求

められる作品を提供する事、どちらも大切な事だと思います。

——今後も継続していくには何が重要ですか

後継者不足と材料の枯渇への対策が重要です。高齢になると、手の力も弱くなつてきますから、作れるものも限られ、作品も偏ってしまします。また、実演会などで遠方に行くのも難しくなるので、どうしても若手の後継者が必要です。若い人は勤めがある中で、定年後に編み組を習い始める人が多いですが、伝統工芸士の試験を受けるためには経験年数が必要です。次の担い手がいなければ技術の低下が心配ですし、しっかりした伝統技法の継承が危うくなります。材料は年々少なくなっています。限られた資源を大切に使うことが重要です。

課題はありますが、今後もお客さんに喜んでもらえるように、そして継続していけるように頑張りたいです。



町民センターで行われた交通安全協会三島分会定期総会

町全体で協力し合い無事故の町へ 交通安全協会三島分会定期総会

交通安全協会三島分会定期総会は6月14日、町民センターで行われました。秦兵輔会長は「町民と協力し合い、交通事故防止運動を進めて欲しい」と述べました。本年1月から6月21日まで、福島県では累積して4108件の交通事故が発生し、29人の方が亡くなっています。事故を起こさないよう、また事故に遭わないように、町全体で交通安全を推進しましょう。



二瓶町長に目録を手渡す星幹夫会津信用金庫理事長

会津信用金庫が町に AED 寄贈 創立 70 周年を記念して

会津信用金庫は自動体外式除細動器（AED）を町に寄贈しました。星幹夫理事長が6月15日二瓶町長に目録を手渡しました。会津信用金庫は今年3月で創立70周年を迎えました。星幹夫理事長は「地域の皆さまのおかげでここまで来ました。地域の皆様のためにお役立てください」と話しました。



町民センターで実施された総合検診

検診は健康への第一歩 総合検診

総合検診は6月20日から6月24日まで町民センターで実施されました。生活習慣病の初期は自覚症状が少なく、症状が出てきたときには病気はかなり進行していることがあります。自覚症状があらわれてからでは手遅れになることも多いです。「いかに治療するか」ではなく、「いかに予防するか」が生活習慣病を克服する最大のポイントです。継続して検査を受けましょう。



優勝した Sixdiue（写真左側）と間方（写真右側）の皆さん

1 部は間方、2 部は Sixdiue が優勝 ビーチバレー大会に 12 チームが参加

教育委員会主催のビーチバレー大会は6月21日・22日の2日間、12チームが参加し熱戦が繰り広げられました。試合の結果は以下のとおりです。

【1部】①間方②フラビーズ③桐寿苑 A、ガッツ西方 最優秀選手 角田広美さん（間方）【2部】①Sixdiue②西方ヤング③オール桑原、ビバ名入 最優秀選手 松本哲さん（Sixdiue）



遊歩道整備に参加した皆さん

神々の道を気軽に歩いてください 早戸ボランティアの会が遊歩道整備

早戸地区神々の道の遊歩道整備は6月7日、早戸ボランティアの会が呼び掛け、早戸・滝原地区の有志によって行われました。来場者が歩きやすいように草刈りを行いました。神々の道は福島県地域づくり総合支援事業の補助を利用して整備され、今年度、全域が完成する予定です。同会会長の五十嵐紀美子さんは「お客さんに気軽に楽しんで欲しい」と話しています。



山と木の市場会場前で会長の武石文敏さん

林業を町の武器にしたい 山と木の市場開催

山と木の市場は、6月11日・12日、(株)有紀の敷地内で開催され、丸太や机、テーブルなど様々な木材加工品の展示販売が行われました。山と木の市場実行委員会会長の武石文敏さんは「ここで販売する木は全て産地が分かります。また業者を通さないので2～3割安い価格で提供できます。地元の木をもっと知ってほしい、そして林業を町の武器にしたい」と話します。



町民センターで行われたしおり作り

明るい社会をみんなで作ろう 社会を明るくする運動を呼び掛けるしおり作り

保護司会、更生保護女性の会などの皆さんは6月10日、「社会を明るくする運動」を呼びかけるためのしおりを作りました。7月はこの運動の強化月間。しおりは期間中さまざまな場所で配られます。しおりには押し花が施され、運動標語コンクールの入選作品が書かれています。地域全体で一丸となって犯罪や非行のない、明るい社会を作りましょう。



社会実験のために歩道を広げた宮下地区の県道

歩行者に優しい道路を検証 宮下地区の県道で交通社会実験

宮下地区の県道では6月8日から6月14日までの間、交通社会実験が実施されました。高齢者や子どもたちが安心して通行できる道路を検証することが目的です。実験では車止めを取り外し、車道幅を4mとしてラインを引き、一時的に歩道を広げました。車道がせまいことで車は自然に減速し、歩行者は歩きやすく、実験はおおむね好評でした。



語り手の五十嵐七重さんと園児。みんな話に引き込まれ目が釘付けです

当日のお話は「スズメのかたきとり」と「かためっこのタヌキ」。子どもたちだけでなく、保護者も七重さんのお話に引き込まれ楽しいひとときを過ごしました。その他、民話だけでなく、歌遊びも教わり、園児たちを楽しませました。七重さんは「とにかく子どもたちと触れ合うことが大切」と話し、自宅でも歌遊びやおとぎ話をすることを勧めました。

三島保育所の保育参観

民話を聞く

五十嵐七重さんの



2



3

1_ みんなで円座になって笹巻を作る。まき方は慣れるまで難しく、おばあちゃんのアドバイスが頼りです 2_ 今日の献立は、味ご飯、ニシンとわらびの味噌汁、シソ味噌巻、ホウレンソウのじゅうねん和え、ミズナの油炒め、ワカメの酢の物 3_ みんな揃って「いただきます」 4_ おばあちゃんからシソ味噌まきの味加減を教わります「みんなしっかり聞いてね」 5_ 「そこを折って巻くんだよ」と、おばあちゃんが分かりやすく教えてくれます



1

山や畑の食材を使い 手間をかけた大切な味を孫へ、ひ孫へ 「おばあちゃんの味」

地域の家庭料理を子どもたちに伝える教室「おばあちゃんの味」は6月24日、町民センターで行われました。三島小学校の6年生12人がおばあちゃん達から教わりながら、料理に挑戦しました。主食の味ご飯を中心に、ニシンとわらびの味噌汁、シソ味噌巻、ホウレンソウのじゅうねん和え、ミズナの油炒め、ワカメの酢の物を作りました。その他、児童のお土産用に、三角巻きと角巻を、笹の葉にもち米を詰めて作りしました。料理が出来上がると、おばあちゃんから児童たちに、「難しい笹巻も一生懸命がんばったね」とねぎらいの言葉がかけ



4



5

られました。今回のテーマは「おばあちゃんから子どもたちへ、みしまの大切な味を伝えたい」今の家庭では、おやつだけでなく、食事にも出合いの物や、化学調味料の多い食事が増えているそうです。おばあちゃんからは、「子ども達には、山や畑から採れた自然の食材に、手間をかけて料理した食事を食べてもらいたい」「作り方や味が子ども達に伝わって欲しい」という子ども達に対する願いが聞かれました。「おばあちゃんの味」は、今回で28回目。孫へと受け継いだ味は年を重ねて、ひ孫へと伝えられていきます。

上手にできたよ ワンダークラブ「作って遊ぼう」

保育所入所前の子どもたちを対象とした、ワンダークラブは6月9日、三島保育所で行われました。今回のテーマは「紙と割りばしを使って、カエルとカタツムリ」を作ろう。子どもたちは、色鉛筆を

使い顔や口を描き、上手に作りました。出来上がったカエルの顔はそれぞれ違って、子ども達の個性が出ていました。次回7月7日は七夕飾りを作り、短冊に願い事を書きます。ぜひご参加ください。



ワンダークラブに参加された皆さん

一緒にあそぼ♪

ワンダークラブに参加しませんか



ワンダークラブは、保育所に入所する前の子どもであれば、どなたでも参加できます。参加したお母さんからは「町内に子どもがいても、なかなか交流がない」「普段、大人に囲まれて生活しているから、同年代の友達と遊ぶことで、子どもがグンと成長しているみたい」「保育所の雰囲気を感じれる」といった感想があがっています。参加希望の方はお気軽にご連絡ください。

☎町教育委員会 ☎(48) 5599

全国瞬時警報システム 運用中です

緊急情報を防災無線で自動放送します



今年度から新しくなった防災無線設備。画面左側が全国瞬時警報システム

全国瞬時警報

システムとは

3月の東北太平洋沖地震から、緊急地震速報が防災無線で放送されるようになりました。このシステムは、人工衛星と市町村の防災無線を利用して緊急情報を伝えるシステムです。地震や津波、弾道ミサイルの発射など、緊急に対処しなければならない事態が発生した際に、国から住民に直接情報を知らせることを目的として、総務省消防庁が整備し運営しています。

このシステムで送信される緊急情報には、気象庁による気象関連情報と内閣官房による有事関連情報があります。気象関連として地震、火山、気象などに関する警報や注意報で、有事関連として弾道ミサイル、航空攻撃、ゲリラ・特殊部隊攻撃、大規模テロの情報が対象になっています。

これらの緊急情報が、消防庁から人工衛星を利用して地方公共団体などに送信され、市町村などが専用の受信機で受信します。情報を受信すると、防災無線が自動で起動され、警報音やあらかじめ録音された音声で自動放送される仕組みになっています。

全国瞬時警報システム 自動通報メッセージ一覧

受信情報	警報音	放送内容
国民保護情報		
弾道ミサイル攻撃情報 (攻撃地域)	有事サイレン 14秒吹鳴	「ミサイル発射情報。ミサイル発射情報。当地域に着弾する可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください」
航空攻撃情報 (攻撃対象地域)	有事サイレン 14秒吹鳴	「航空攻撃情報。航空攻撃情報。当地域に航空攻撃の可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください」
ゲリラ・特殊部隊攻撃情報 (攻撃対象地域)	有事サイレン 14秒吹鳴	「ゲリラ情報。ゲリラ情報。当地域にゲリラ攻撃の可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください」
大規模テロ情報 (攻撃対象地域)	有事サイレン 14秒吹鳴	「大規模テロ情報。大規模テロ情報。当地域にテロの危険性及ぶ可能性があります。屋内に避難し、テレビ・ラジオをつけてください」
緊急地震速報		
震度速報 (震度5弱以上)	緊急地震速報チャイム	「緊急地震速報。大地震です。大地震です。こちらは防災三島町広報です。」
気象情報		
火山噴火警報 噴火警戒レベル5(避難)	上り4音 チャイム	「こちらは防災三島町広報です。ただいま噴火警戒レベル5が発表されました。テレビ、ラジオの情報に注意し、避難してください」
火山噴火警報 噴火警戒レベル4(避難準備)	上り4音 チャイム	「こちらは防災三島町広報です。ただいま噴火警戒レベル4が発表されました。テレビ、ラジオの情報に注意し、避難の準備をしてください」

※これらの通報は自動的に放送されるシステムのため、警報を受信した場合は真夜中でも放送されます。

風評被害に負けるな

埼玉のイベントに出展

津波被害からの復興支援

いわきなど沿岸部で災害ボランティア



写真上_埼玉県さいたま市大宮区のさいたまスーパーアリーナで開催された住宅・設備展示イベントに、道の駅尾瀬街道みしま宿、JA会津みどり三島山菜加工場、会津桐タンス(株)が出展した



写真下_いわき市でのボランティアに参加した皆さん。津波によって水田に堆積した土砂の撤去などを行った。左後ろに見えるのは江名中学校

福島第一原子力発電所の事故の影響による風評被害が深刻になる中、各地で復興支援イベントが行われています。三島町からも首都圏などに出向き、地場産品の販売や観光PR活動を行っています。また、被災地での災害ボランティアも継続して実施しています。

「住まいの夢博」での復興支援ブースへ出展

積水ハウス株式会社が主催した「住まいの夢博」は6月18日・19日、埼玉県さいたま市大宮区のさいたまスーパーアリーナで開催され、会場内に被災地復興支援ブースが設けられました。三島町からは道の駅尾瀬街道みしま宿、JA会津みどり三島山菜加工場、会津桐タンス(株)が参加し、山菜、山菜加工品、桐製品などを販売しました。会場は多くの来場者で賑わい、三島のブースにも多くの人が訪れました。用意した商品のほとんどが完売しました。

いわき市沿岸部で復旧支援ボランティア

地震と津波による大きな被害を受けた地域の支援のために、有志の呼びかけで「オールおくあいづ」が結成され、ボランティア活動を行っています。6月19日には、いわき市沿岸部での復旧作業に三島町、柳津町、金山町から11人が参加。江名中学校付近の水田の土砂撤去や側溝のがれき拾いなどを行いました。同地区では永崎海岸から津波が押し寄せ、海沿いの地域は家屋が倒壊し、水田や側溝には大量の土砂が流れ込みました。

三島町の放射線状況

三島町の6月27日現在の放射線量は0.11マイクロシーベルト毎時です。また水道水や農産物からは基準値を超える放射性物質は検出されていません。今後も随時、放射線量の調査を行っていきます。なお、詳しい情報はお知らせ版に掲載していますので、そちらをご覧ください。

有害鳥獣駆除を委嘱

有害鳥獣駆除員に 15 人が委嘱されました。有害鳥獣駆除員は、クマなどが出没し、住民に危害を加える恐れのある場合に、その駆除にあたります。昨年度はこれまでよりも多くのクマが出没しました。今年度も十分な注意が必要です。なお、クマを目撃された場合は役場までご連絡ください。

有害鳥獣駆除員名簿

区 分	氏 名	地 区
隊 長	秦 正 信	大 石 田
副 隊 長	佐 藤 好 一	荒 屋 敷
隊 員	二 瓶 政 一	名 入
隊 員	青 木 保 雄	西 方
隊 員	坂 内 澄 男	西 方
隊 員	阿 部 政 敏	松 原
隊 員	大 島 昇 一	浅 岐
隊 員	菅 家 藤 一	間 方
隊 員	角 田 清 一	浅 岐
隊 員	二 瓶 義 徳	間 方
隊 員	阿 部 通 利	松 原
隊 員	海 老 名 健	松 原
隊 員	青 木 正 幸	荒 屋 敷
隊 員	小 松 信	西 方
隊 員	小 松 正 志	西 方



二瓶町長から有害鳥獣駆除員に委嘱状が手渡された

農業委員に小柴春雄さん



二瓶町長から委嘱状を受け取る小柴春雄さん

農業委員会委員選任書委嘱式は 6 月 7 日に行われ、小柴春雄さん（高清水）が委員に選任され、二瓶隆司町長から委嘱状が渡されました。小柴さんは「厳しい状況に置かれているが、風評被害に負けない取り組みに力を注ぎたい。近隣町村とも連携し合い三島地区でも独自の対応を図りたい」と抱負を述べました。

固定資産評価委員に栗城隆彦さん



三島町固定資産評価審査委員に栗城隆彦さん（宮下）が委嘱されました。固定資産評価審査委員は、固定資産の評価額に関する不服の審査を行います。任期は平成 23 年 7 月 1 日から平成 26 年 6 月 30 日までの 3 年間です。適性な評価のためによりしくお願いします。

三島町議会

6月定例議会開催



6月20日に開催された定例会では、いつもより多くの人が傍聴した

三島町議会の6月定例会は、20日・21日に開かれました。二瓶隆司町政での、初の議会ということもあり、いつもより多く傍聴者が見られました。本定例会においては、町政の運営方針、ふるさと荘の存続問題、桐の湯の直営化の検討や、テレビ放送に関する条例などが議題として討論されました。

震災以降、町内でも様々な影響が出ています。今後の町政については予断を許さない状況ですが、議会の理解を得ながら、町民の皆さんと力をあわせて、まちづくりに取り組んでいきます。

議会議員として 11 年 自治功労表彰

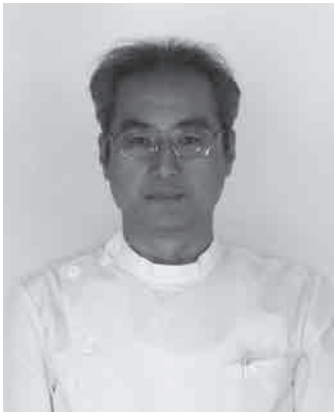
角田伊一 議 長
五十嵐忠義 副議長



角田陽市議会事務局長から表彰状を受け取る、角田伊一議長（写真上）と五十嵐忠義副議長（写真下）

自治功労表彰の伝達式は 6 月 20 日に議会の冒頭で行われ、角田伊一議長と五十嵐忠義副議長に角田陽市議会事務局長から表彰状が手渡されました。両議員は平成 12 年 5 月から平成 23 年 5 月で議員勤続 11 年となりました。伝達式前の 6 月 6 日、表彰式が福島市杉妻会館で行われ、福島県町村議会議長会の鈴木巖議会議長から表彰を受けました。今後もお二人のご活躍が期待されます。

黒沢副院長の診療日記 家庭血圧測定のすすめ



黒澤正喜 副院長

- 専門分野 内科、消化器
- 出身大学 福島県立大学

今回は、家庭血圧測定についてお話しします。血圧は年齢とともに高くなり、70代では6割以上の方が高血圧症となります。最近では、高血圧に関する知識とともに家庭血圧計が普及し、多くの方がご自宅で血圧を測定できるようになりました。

1日のうちで血圧が最も高くなるのは早朝です。朝起きたらすぐに測るのが良いでしょう。具体的には、排尿した後に座り、気持ちを落ち着けてから深呼吸を2、3回したところで測ってください。もし、余裕があれば、寝る直前にも測定してください。そして、これらの血圧の数値を記録して、診察の際に医師に見せてください。目標は、上（収縮期）は135mmHg、下（拡張期）は85mmHg以下とされていますが、年齢や合併症の有無により目標値が異なりますので、医師におたずねください。高血圧が長期間続くと、脳や心臓の血管が傷んで、脳梗塞や心筋梗塞が起こり易くなります。しっかりと血圧を下げて、脳梗塞や心筋梗塞を予防しましょう。

地域と学校の橋渡し

学校支援地域本部支援員
小柴奈穂美さん



町教育委員会では今年度新たに「学校支援地域本部事業」を実施します。その支援員となった小柴奈穂美さん（西方）は地域住民のボランティアによる学校支援活動をサポートします。奈穂美さんは「地域と学校をつなぐ橋渡し役となり、地域の絆づくりや教育力の向上につながるように私なりに頑張っていきたいと思います」と抱負を語りました。

歳時記 萌の会

当てるみる母の好みし夏衣	小平佳子	南瓜植う八十半ばの夢を持つ	志田たつの
会津嶺の雲の逆さに代田澄む	小柴盛雄	度忘れを苦笑いして柿若葉	片山祐一
どこからかコーヒー匂う若楓	小柴有美子	暮るるには間のある疊柿若葉	栗城幸子
衣更人の容姿みて戻りけり	小柴六進子	美坂路や煙二すじ蔦の雨	栗城三保
町起し思行錯誤の冷奴	諸井まさ子	霹靂の恐怖を春の海に問う	佐藤朋良子

三島の民話

第四話
下駄のばけもの



三島町には数え切れないほど多くの民話があります。本に残された話、語り継がれてきた話、忘れられようとしている話……。ここでは三島町に残る昔話や伝説、世間話などを紹介します。

昔むがし、あるところにじい様とばあ様おらったどお。二人は、めんこい孫娘育てらったどお。したがなあ、困ったことに孫娘は物粗末にしてしかたなかっただどお。盆になつからどつて、お盆用に赤い緒のぼつくり下駄かつてやつと、すぐはき出して無くして来る。そいから「買って買って、赤いがな」どつてせがむがあ仕方なく買ってやつと、ぶつくつちゃどが、無くしただどが言うだど。本当に困つてばあ様は「にしゃは、すぐ無くしつちまう。困った子だな。今までいくつ無くしたどつせ。あととはかつてくれらんにあが探してこいよ」そう言つてもやダヤダとダダこねだとお。なじようしたら良いもんだかほと困つていると、ある夜ばあ様と孫が寝

てる軒下で気味の悪いうたが聞けえだどお。つらにまなぐがみつである。はつかけひつかけ歯がいつぽんカッカッカア、カッカッカア。「おつかねえ、ばあや」孫はおつかながつてんが、ばあ様は「ほおらみてみんべえ」孫とまど下見てみつと、ヤレヤレ、下駄の化け物が大勢で踊つていたどお。つらにまなぐがみつである。はつかけひつかけ歯がいつぽんカッカッカア、カッカッカア。じつと見ていた孫はばあ様の手ギューッとしぎつてないだどお。ばあ様は孫の頭をなでてやつたどつせ。それからちゆうもの孫娘は物を大事にする、とでもいい子になつたどお。ざーとむかし、さげえもうした。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●問い合わせ 教育委員会 ☎(48) 5599

一般向け

田舎の買い方、暮らし方
吉津耕一・著
ハート出版

田舎がどんなに良いところだとしても、悪い所もある。だからまずは実際に行つてありのままの田舎を確かめるべき。田舎で暮らしたいと思っている人に読んで欲しい本です。

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会で検討し、選定された本を購入します。

赤毛のアン

L・M・モンゴメリー・作
山本容子・訳
講談社

赤毛でそばかすのアニーが、カスパード兄弟にひきとられて数々の事件を引き起こす物語。今起こっている全ての事を楽しむアンの生き方が素敵です。素直になることも大切だと気付ける一冊です。



小学生向け



蜘蛛の糸

芥川龍之介・作
遠山繁年・絵
偕成社

生前、いろいろな悪事を働いた大泥棒が一つだけした善い事。それは小さな蜘蛛を殺さずに助けてあげたこと。読んだ後、お釈迦様が何を伝えたいのか分かる絵本。絵の色がもとても綺麗です。

これからの行事予定 town schedule

7月9日(土)

年中行事「虫送り」19:00～ 大石田地区

7月22日(金)

3市町村水泳大会 金山小学校プール

7月23日(土)

三島保育所夏まつり 18:00～ 三島保育所

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

大石田友愛サロン

7月5日(火) 遠足(米沢市)

8月2日(火) 10:00～ 大石田生活改善センター

川井友愛サロン

7月14日(木) 遠足(只見町)



間方地区のサロンの様子

☎三島町社会福祉協議会 ☎0241(52)3344

ご寄附
ありがとうございました

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

小堀正義様(西方)

五十嵐菊雄様(大谷)

若林正江様(間方)

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

☎町民課 ☎(48)5565

4カ月児健診

7月12日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

8月9日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

7月20日(水) 13:00～ 柳津町 ふれあい館

足腰げんき教室

◎室内運動編

7月14日(木) 13:30～ 町民センター

8月4日(木) 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

7月28日(木) 13:00 町民センター集合
西会津町民プール

機能訓練会

7月13日(水) 14:00～ 福寿草

8月10日(水) 14:00～ 福寿草

心配ごと相談(※事前申し込み必要)

7月14日(木) 9:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



☎地域政策課
美しい村づくり班
☎(48)5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では5月中、刑法犯は発生しませんでした。

東日本大震災に便乗した
詐欺に注意！！

具体的内容

①息子を騙る現金受取型のオレオレ詐欺において、騙し役が被害者に対し、金融機関で現金を調達する際、「震災で実家の修復作業の頭金を支払わなければならない」などと答えるように指示をする。
②震災で経営に窮する中小企業を狙い、融資案内のFAXを送りつけ、融資を申し込んできた被害者から事務手数料などの名目で現金を騙し取る

会津地方で発生した不審電話

5月中旬、会津若松市において息子を騙り「携帯電話が壊れ番号が変わった、女性を妊娠させて示談金が必要」という内容の不審電話があった。

被害に遭わないために

①たとえ家族を名乗る者からの電話であっても「電話番号が変わった」、「風邪をひいて声が変わった」などと言ってきたときには、オレオレ詐欺を疑う。
②示談金、慰謝料、事務手数料などの名目で現金の振り込みを依頼されたときは、「急いで振り込んで」と急がされたとしてもすぐに振り込むことなく、一度家族や警察に相談する。

街頭犯罪発生状況(1～5月)

区分	管内	三島町
空き巣狙い	3	
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗	2	
オートバイ盗		
自転車盗	6	
自販機狙い	1	
車上狙い	5	
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	18	0
全刑法犯	38	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

東日本大震災に伴う
登記の相談フリーダイヤル

福島地方務局

福島地方務局では、東日本大震災で被災された方のために、不動産や会社の登記について、相談用のフリーダイヤルを開設しました。相続登記および倒壊、流出した家屋の登記申請、会社の印鑑や印鑑カードの紛失をした場合の手続き、会社の役員変更の手続きなどの相談を受け付けていますのでフリーダイヤルをご利用ください。

☎0120(227)746

◎受付時間

平日 8:00～17:15まで

休日 9:00～16:00まで

※休日の相談は7月末までの予定です。

☎福島地方務局総務課

☎024(534)1983

社労士会
復興支援ホットライン

全国社会保険労務士連合会

社労士会では、被災された方の生活が一日も早く回復されるように、雇用労働問題などに関する、無料電話相談窓口を開設しました。労働社会保険の専門家である社労士が電話で相談を受け付けます。

☎0120(000)528

◎受付時間

☎～☎ 10:00～17:00まで

※祝・祭日は除きます

☎福島県社会保険労務士会

☎024(535)4430

三島町の人口と世帯

(6月1日現在)

人口	1,999	-5	出生	1
男	953	0	死亡	2
女	1,046	-5	転入	7
世帯	836	-5	転出	11

※住民基本台帳による数値です。

放送大学
学生募集

放送大学福島学習センター

放送大学では、平成23年度2学期の学生を募集します。本学は、全科履修生として4年以上在学し、所定の単位数を習得すれば学士(教養)の学位が取得できる正規の大学です。また卒業を目的とせず、学びたい科目を1年あるいは1学期間(6ヶ月間)学習する選科・科目履修生については入学時に満15歳以上であれば、誰でも入学することができます。

◎出願締切

平成23年8月31日(水)

出願方法など、詳しい内容については、放送大学福島学習センターまでご連絡ください。

☎放送大学福島学習センター

☎024(921)7471

入国警備官
採用試験

仙台入国管理局

人事院・法務省では、出入国管理行政の第一線で活躍する入国警備官を募集しています。

◎受験資格

昭和63年4月2日～平成6年4月1日生まれの方

◎採用予定数

約30名

◎受付期間

<インターネット>

7月19日(火) 9:00～

7月26日(火) 17:00まで

<郵送または持参>

7月19日(火)～8月2日(火)

(8月2日(火)までの消印有効)

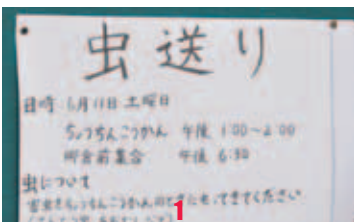
◎第一次試験

9月25日(日)

申込用紙の請求や、受験資格などの詳しい内容については、仙台入国管理局総務課までご連絡ください。

☎仙台入国管理局 総務課

☎022(256)6076



1 虫送りの開催を知らせるポスターももちろん手作り
2 当日は朝から準備が始まります。提灯をくりつける竹と、大八車を飾る木を切りに行きます 3 午後6時45分。みんな集まりだします。もう少し日が落ちたら出発です 4 午後7時いよいよ出発。夕焼け前の空が初夏の色です 5 すっかり日も落ち提灯の明かりが際立ちます 6 提灯の明かりが子ども達の顔を優しく照らします 7 写真右から本名将くん、二瓶北都くん、酒井康太くん、五十嵐豊香さん。準備お疲れさまでした。みんなのおかげで伝統が守られます。

年中行事虫送り

Topic 2

西方・名入地区



年中行事「虫送り」は6月11日、西方地区と名入地区で行われました。この行事は農作物に害のある虫を追い払うために行われるもので、地区の中学生が中心となりました。当日は高校1年生のOBとOGも手伝いに参加し、後輩を助けてました。夜7時、地区の子もたちが集まり、行列がスタート。「でんばら虫のおいくらよいよい。なに虫もおいくらよいよい。よろずの虫もおいくらよいよい」と掛け声を上げながら集落を練り歩きました。初夏の夜、集落には大勢の聲がこだまし、暗闇に揺れる提灯の明かりが子どもたちの笑顔を優しく照らしました。



伝統を受け継ぎたい
西方地区の中学生は4人。4月から準備をはじめ、部活を終えて帰宅してから、連日9時過ぎまで準備をしてきました。4人は「準備は大変だったけど、地区に伝わってきた伝統を受け継ぎたい」「先輩から伝わってきた伝統を自分たちも守りたい」「小さい子どもたちに楽しんでもほしい」と語ってくれました。少ない人数で成し遂げるのは大変ですが、子どもたちは自分の力でやろうとする気持ちをしっかりと学んでいます。



1 登山道に入るとすぐ鐘がある。無事に下山できるようにと鐘を鳴らす 2 志津倉山一番の難所「鎖場」急斜面の岩場は滑りやすく鎖を握る手にも力が入る 3 しばらく歩くと雨乞い岩が見える。この周辺は少し平地があるため、眺めがよく一回目の休憩には絶好の場所 4 山にはまだ残雪を見られる箇所がいくつかある。雪の近くはひんやりとした冷気が漂いほてった体に心地良い 5 若松三島会の皆さん。山頂での乾杯は格別 6 東京からはるばる参加された登山仲間の皆さん。(広報にあって良いよと撮影を快諾してくれた) 7 下山後、間方地区(主婦の会)の皆さんが山賊鍋を振る舞った。疲れた体を芯から癒してくれる

3

2

志津倉山開き

Topic 1

登山シーズン幕開け



4

今年も本格的な登山シーズンが到来し、近隣の山々が山開きを迎える中、志津倉山開きが6月5日に行われ、県内外から約200人の登山者が参加しました。当日の天気は曇り。前日の暑さはやわらぎ、登るには適した気温でした。登山口で安全祈願をした後、参加者はそれぞれのペースで山頂を目指しました。あいにく頂上は雲がかかり、眺望はよくありませんでしたが、山頂で催された抽選会では、運よく景品を手にした登山者から笑顔がこぼれました。下山コースの途中で現れる残雪付近では、ひんやりとした冷気が漂い、ほてった体を心地よく冷やしました。下山後は、間方地区の方々が山賊鍋をもてなし、登山者の疲れた体を癒しました。夏を迎えた志津倉は、秋の紅葉まで、登山者に山の彩りを楽しませてくれそうです。



7



6



5

三島の初夏

町民の願い、被災地へ届け。

東日本大震災被災者への支援

多くの皆さまから義援金や支援物資をいただき、誠にありがとうございました。いただいた義援金、支援物資は、被災者の方々のために使わせていただきます。支援金の総額は、町社会福祉協議会と役場総務課で把握している金額を掲載しました。このほか郵便局などで頂いたご寄附も数多くあります。

義援金 5,981,829円

物資 72種類 4,042点

食糧 47種類 689点

米 300kg

6月13日現在

◎お詫びと訂正

広報7月号に記載した物資と食糧の数量に誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

編集後記

▼工人まつりに15年ぶりに参加しました。「本当に大勢来るよ」と、話には聞いていましたが、当日の会場の様子と国道脇にびっしりと並ぶ車をみて、工人まつりの盛大さを実感しました。一番印象に残ったのは、会場にいる人がみんな笑顔でいることです。カメラを片手に話を聞くとまるで自分が誉められているような錯覚をして、誇らしい気持ちになりました▼中学校を卒業して以来、久々に虫送りに参加しました。中学生の少なさには驚きましたが、それ以上に、少ない人数でここまで準備したことに驚きました。子ども達から、自分で取り組む姿勢を学びました。そして、高校生の小平達也君と二瓶世鈴奈さん。お手伝いご苦労さまでした。後輩を思いやる気持ちには感激しました▼工人まつりと虫送りでの出会いを通して三島は素敵な所だと実感しました。暗いニュースが多いですが、勇気が沸いてきます。